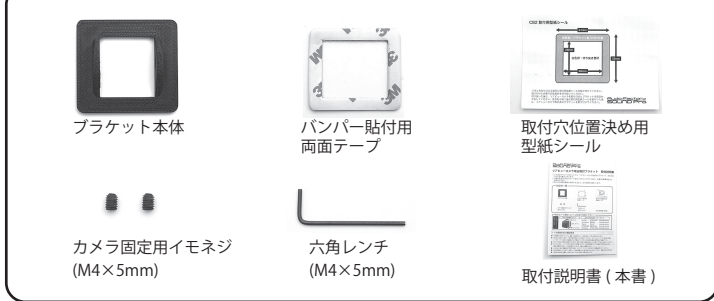


## リアビューカメラ埋込取付ブラケット 取付説明書

- この度はサウンドプロオリジナル「リアビューカメラ埋込取付ブラケット」をお求めいただき有難うございます。
- 当製品を安全に取り付け・ご使用いただくために、当書の記載事項をよくお読みください。
- 取り付け後は必要時に参照できるよう、必ず保管をお願いします。

### 内容物一覧



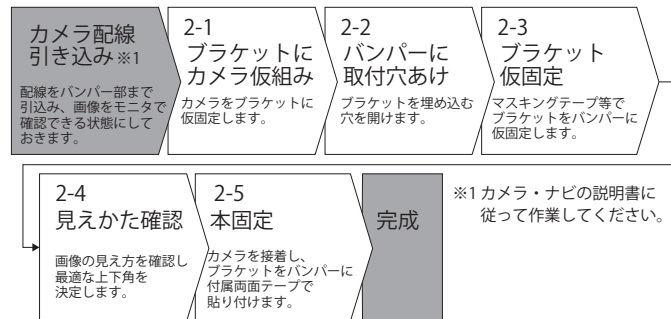
### 適合カメラ情報 (カメラは別途ご購入ください)

取付可能最大サイズ	取付可能主要メーカーサイズ
幅 24mm 高さ 24mm 奥行き 27mm	ALPINE HCE-C1000 23.6×23.6×24.0 carrozzeria ND-BC8 23.8×23.8×25.5 Clarion RC15C 23.4×23.4×23.5 KENWOOD CMOS-230 23.4×23.4×23.9 Panasonic CY-RC100KD 23.0×23.0×23.0

## 1 作業開始前の確認事項

- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と異なって見える場合があります。
- 着事前に本書をよく読み、一連の作業を理解してから着手してください。次ページの1-1と1-2の事項もお読みいただき、十分に安全にご留意頂いた上で着手してください。不安がある場合は専門店にご依頼ください。
- 取り付け作業には相応の時間がかかります。屋外で作業する場合は明るいうちに終了できるよう計画してください。
- 取り付けに際し、バンパー部に穴あけ加工を必要とします。穴あけ部背面にカメラを格納できる余裕があるか、損傷に配慮を要するケーブル等が通っていないか、事前にご確認ください。
- 穴あけ加工対象に金属部品が含まれる場合、タッチアップペイント等 (別売) で防錆処理を行ってください。
- 取付部が湾曲しているなど、両面テープ全面が密着しない面には取り付けしないでください。脱落の恐れがあります。
- 本製品の仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。

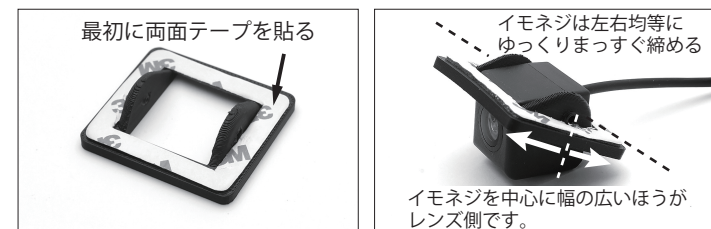
## 2 取付作業のながれ



### 2-1 ブラケットにカメラを仮組み

最初にブラケットの突起のある方に両面テープを貼り付けます。次にカメラをステーの開口部にあてがって、付属のイモネジで固定します。付属の六角レンチを使い、左右均等に締め込んでください。

ネジ穴は本固定の際にしっかり締まるように、キツめにしてあります。力を入れすぎて締め過ぎたり、斜めに入れたりしてネジ穴を破損しないように注意してください。本締めは後ほど行いますので、この段階では軽めに締めておいてください。



### 1-1 安全に作業・ご使用いただくためにお守りください

- 本製品の取り付けには、関連部分の自動車の構造に関する知識が必要です。また関連作業を含めると、電気配線の知識・技術・工具類も必要になります。不安・不足がある場合は無理をせず、専門店にご依頼ください。
- 取り付け・ご使用前に、この取付明書をよくお読みいただき、正しく作業してください。説明書の指示をお守りいただかなかった事により生じた不具合、並びに損失に対して、当店は一切の責任を負えません。
- 当初お読みになった後も、必要時に参照できるよう保存してください。

### 1-2 配線・取付・取扱・ご使用上に関する警告・注意 (関連作業を含む)

- 説明書に従って、正しく接続してください。車両火災・事故の原因になることがあります。
- 配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外してください。感電・ケガの原因になります。
- ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。
- 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴグル等を使用して目に切り子や破片が入らないように保護してください。ケガの原因になります。
- アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。
- コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。
- コードをシートレールにはさんだり、突起部に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。
- 走行前にカメラステーの取付状態に異常がないか点検してください。事故の原因になります。
- カメラの取付け作業を行うとき、カメラの取付け状態を点検するときは、車を平坦で安全なところに停めて必ずエンジンを切り、サイドブレーキを確実に引いた状態で行ってください。事故の原因になります。
- 付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。
- コード類の配線は高温部・可動部を避けて行い、しっかりと固定してください。高温部に接触してコードの被覆がとけたり、可動部品による咬み込みによりショートや断線が起こり火災・感電の原因になります。
- カメラ本体は、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。
- カメラ向きのスレ、ステー破損の原因になりますので、ステーに無理な力を加えないでください。
- カメラ破損の原因になりますので、飛び石等にはご注意ください。
- 自動洗車機や高圧洗車時はご注意ください。カメラ外れやカメラコード損傷の原因になります。また、カメラ内部や車体内に水が入り込む恐れがあります。
- 定期的に取付状態を点検してください。ねじのゆるみや、カメラのグラつきを確認してください。コードを車内へ引き込んである箇所防水ゴムがゴムパッキンに平行にあたっていることを確認してください。

### 2-2 バンパーに取付穴あけ

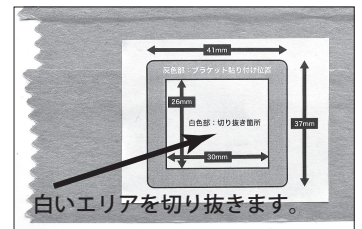
- ① マスキングテープで周辺を保護する  
作業時のキズ付きを避けるために、取付け予定部の周辺にマスキングテープや養生テープを貼って防護します。



- ② 取付穴位置決め用シールを貼って切り抜く

マスキングテープの上から位置決め用シールをはり、ガイドラインに沿ってバンパーを切り抜きます。

ツールは極細身のノコギリ、エアソー、超音波カッターなどが向きます。



### 2-3 ブラケット仮固定

2-2 で貼った防護テープ類を取り除き、2-1 でカメラを仮組みしたブラケットを取付穴に差し入れ、マスキングテープ等で動かないように固定します。

- 【注意①】  
カメラの横幅によってはイモネジが若干飛び出て、穴の両脇にひっかかります。状況に応じて、削ってひろげてください。
- 【注意②】  
見えかた確認前の仮固定なので、まだ両面テープで貼り付けしないでください。



## 2-4 見えかた確認

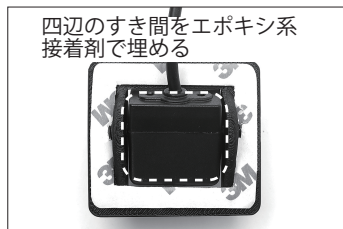
運転席に戻り、モニターを見て画像の見え方(上下の角度)を確認します。  
イモネジの接点を支点として角度を調整し、ちょうどよいところが決まったら、  
ブラケットとカメラの位置関係が変わらないようにマスキングテープなどで固定  
します。

## 2-5 カメラ本固定

### ①カメラとブラケットを固定する

ブラケットの外周に目印を付けてから  
バンパーから外し、イモネジを締め込み  
ます。

よりしっかりと固定するために、四辺の  
すき間にエポキシ系接着剤を充填します。



### ②ブラケットをバンパーに固定する

接着剤が乾いたら両面テープの紙を  
剥がし、目印に合わせてバンパーに  
圧着します。

#### 【注意】

ワックスやコーティングは事前に除去  
しておいてください。



#### 【注意】

- 冬季で気温が低い場合や、雨天で湿気が多い時は、接着力を上げるために  
ドライヤーなどで取り付け面を暖めてから取り付けてください。
- 取り付けから 24 時間以内は以下に注意してください。  
雨に当てない。/ 水を掛けない。洗車をしない。/ ブラケット・カメラ本体に  
無理な力をかけない。

## 製造・販売元

オーディオファクトリー・サウンドプロ  
〒116-0012 東京都荒川区東尾久 2-38-14  
TEL : 03-5913-8450 / FAX : 03-5913-8460  
<https://www.soundpro.jp> [info@soundpro.jp](mailto:info@soundpro.jp)